

# 児童養護施設に勤務する看護師に求められる役割

木村智一（医療法人財団 青溪会 駒木野病院）

塩飽 仁（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻小児看護学分野 教授，  
特定非営利活動法人 福島県の児童養護施設の子供の健康を考える会 副代表）

澤田和美（特定非営利活動法人 福島県の児童養護施設の子供の健康を考える会 共同代表）

丸 光恵（特定非営利活動法人 福島県の児童養護施設の子供の健康を考える会 共同代表）

## 1. 児童養護施設に勤務する看護師の役割に関する調査目的

近年、看護師を雇用する児童養護施設が増加している。しかし、被虐待児や発達障害児の増加など入所児童の状況を十分にふまえた看護師の雇用状況や役割に関する調査は行われておらず未だ不明確なままである。一方で、厚生労働省や全国児童養護施設協議会は、児童養護施設に看護師の雇用を推進しており、雇用を促進するためには看護師の役割や雇用の必要性を明確にする必要がある。

そこで、今回我々は日本全国の児童養護施設の福祉職（直接処遇職員と基幹的職員）、施設長、看護師を対象にした調査を実施し、児童養護施設の看護師の役割に関して検討することとした。

## 2. 児童養護施設の看護師の役割に関する調査内容と結果

看護師の役割について、先行文献（2000佐藤，2001大岩，2007友田，2009上別府など）を参考にした『看護師の役割と考えられる26項目（表1）』を作成し、それらについて福祉職がどの程度困難を感じているか、さらに看護師がいる施設の福祉職には、看護師が実施している項目について看護師がいることでどの程度助かっているか回答を求めた。看護師がいない施設の福祉職には、看護師がいたら依頼したいことについて自由記述で回答を求めた。看護師がいる施設の施設長には、看護師がいることでどの程度子供のためになっていると考えるか回答を求めた。加えて、看護師を雇用している目的について自由記述で回答を求めた。そして施設で勤務する看護師には、表1の内容について看護師が実施しているか、看護師が実施するべきであるか回答を求め、さらに、施設長から依頼されている内容について自由記述で回答を求めた。

調査は2013年5月に郵送によって行い、児童養護施設589施設のうち218施設（37.0%）から回答を得た。このうち2013年5月1日現在、看護師が在職している施設は70施設、在職していない施設は148施設でありこのうち過去に在職した施設は22施設あった。職種別に、基幹的職員205名、直接処遇職員210名、施設長210名、看護師67名の回答を集計した。基幹的職員と直接処遇職員の結果に関しては、今回大きな差は見られなかったため、福祉職として結果をまとめた。

およそ9割の福祉職が【性教育,性的問題への対応】を困難と感じ、7割弱が【感染症対応】、6割程度が【職員が子供へ対応するための保健指導,教育】に困難を感じていた。また、看護師が勤務している施設の福祉職の9割以上は、【応急手当】【感染症対応】【一時的な受診判断】【慢性疾患を持つ児童のための通院】【予防接種管理】【一時的な受診付添】【発育発達の把握】【感染予防の保健指導】【定期的な服薬管理】【服薬以外の定期的な医療的ケア】について看護師がいて助かっていると回答した。また、看護師がいない施設の福祉職は、[病院への付添]や[病院受診の判断]などのく病

院の受診判断，通院の対応〉，〔予防接種の管理〕や〔健康管理の実施〕などの〈子供の健康管理〉，〔職員への保健教育，指導や研修〕〔職員へのアドバイス〕などの〈職員が子供に対応するための保健教育，アドバイスや相談対応〉，〔応急手当〕や〔傷病の判断〕などの〈傷病の判断と一時的な対応〉，そして〈性教育，性的問題への対応〉などを看護師に依頼したいと考えていることがわかった。

看護師がいる施設の施設長については，その9割以上が【予防接種管理】【一時的な受診判断】【応急手当】【一時的な受診付添】【一時的に処方された薬の管理】【感染予防の保健指導】【定期的な服薬管理】【感染症対応】【慢性疾患を持つ児童のための通院】について看護師がいることで子供達のためになっていると捉えていた。また，看護師雇用の目的として，〔健康管理の実施〕や〔病気や感染症予防〕などの〈子供の健康管理〉，〔施設内での療養対応〕や〔医療行為や医療的ケア〕といった〈施設内での医療的対応〉，〈服薬管理と医薬品管理〉，そして〈職員の健康管理〉などを挙げた。施設長が看護師雇用で気になることとしては，職種間連携，勤務時間帯の設定，福祉職(福祉施設)と医療職(医療機関)の違い(給与を含む)，などがあげられていた。

看護師は，【応急手当】【感染症対応】【感染予防の保健指導】【予防接種管理】は看護師が実施するべきと全員が回答し，さらに【一時的な受診判断】【定期的な服薬管理】【一時的な受診付添】【職員が子供へ対応するための保健指導，教育】【医療機関との連携】などは看護師が実施するべきと捉えていた。また，看護師は施設長から〔健康管理の実施〕や〔病気や感染症予防〕などの〈子供の健康管理〉，〔病院への付添〕や〔通院の把握，調整の対応〕などの〈病院の受診判断，通院の対応〉，〔施設内での療養対応〕や〔医療行為や医療的ケア〕などの〈傷病や感染症発症時の対応〉，〈服薬管理と医薬品管理〉，〈子供への相談対応や保健指導〉，そして〈関係機関との連携〉などを依頼されていた。

### 3. 児童養護施設の看護師に求められる役割

児童養護施設の看護師の役割に関する先行研究(2000佐藤，2001大岩)では，1998年の児童福祉法改正に関連して慢性疾患を持つ児童や虚弱児を対象とした服薬などの医療的ケアの実施，管理やそれらの指導を看護師に求めている。そして，本調査においても慢性疾患を持つ児童の医療的ケアなどの対応，医療的ケア技術に関する福祉職への助言が，看護師の役割と考えられていた。

また，児童養護施設の福祉職の調査によると，福祉職の医療に関する専門的知識が十分でなく，突発的なケガや症状悪化時の判断や対応，感染症に関する判断や対応，緊急時の処置や対応を困難に感じていた(2007友田)。本調査で福祉職や施設長は，突発的に起こる通院の判断やその対応，突発的な傷病への対応，感染症発症時の対応，薬の管理と使用判断などを看護師の役割として求めており，看護師は自身が実施するべきであると考えていた。

乳児院や保育所の看護師の役割として，病気や感染症予防などを含めた子供達の健康管理が挙げられているが(2009上別府，2009若井)，本調査でも施設長と看護師のほとんどが病気や感染症の予防，予防接種管理，成長発達の把握と管理など健康な子供達への対応は看護師が実施するべきだと考え，福祉職も同様に捉えていた。加えて，医療機関との連携や健康状況や成長発達などの記録管理も看護師の役割として求められていると考えられた。

児童養護施設における現在の重要な課題として，被虐待児など情緒に問題がある子供への対応，性

(生)教育に関わること(2013八木)、子供達が児童養護施設を退所し、自立するための健康教育などがあるが、本調査ではこれらの課題への対応について看護師が十分機能しているとは評価されなかった。一方で、看護師自身はこれらの役割を担うべきと捉えており、これらについては今後、福祉職との協働のもと看護師が果たすべき役割として期待されていると考えられる。

本調査と先行研究から、児童養護施設の看護師に求められる役割として、「慢性疾患を持つ児童に対する通院や医療的ケアなどの対応」「医療的ケア技術に関する福祉職への助言、指導」「被虐待児など情緒に問題がある子供に対する看護」「薬の管理と使用判断」「突発的に起こる通院の判断やその対応」「突発的な傷病や感染症発症時の対応」「病気や感染症の予防」「予防接種管理」「子供の成長発達の把握と管理」「子供の健康の維持及び増進」「健康状況や成長発達などの記録管理」「性(生)教育に関わること」「子供への健康教育に関する福祉職への助言、指導」「医療や健康など専門的知識をふまえた職員への教育」「職員のメンタルケアを含めた健康管理」「医療機関との連携」が明らかになった(表2)。

このように児童養護施設の看護師に求められる役割は多岐にわたり、病気や障害を持つ児童に加え、健康な児童の健康の保持や増進などもある。今後は、看護師の役割について職員間の相互認識を高めつつ、施設の状況に合わせて、段階的に看護師の役割遂行を拡充していくこと、さらに施設での看護師の雇用を推進していくことが望まれる。

最後になりましたが、調査の企画実施に際しきめ細かなご助言やご指導を賜りました児童養護施設青葉学園園長の神戸信行先生ならびに児童養護施設福島愛育園園長の齋藤久夫先生には衷心よりお礼申し上げます。また、調査の実施にご賛同ご支援をいただきました全国児童養護施設協議会前会長の加賀美尤祥先生、調査にご協力いただきました全国の児童養護施設の皆様に深く感謝するとともに、厚くお礼を申し上げます。

#### 4. 参考・引用文献

- ・上別府圭子, 多屋馨子, 門倉文子他. 保育所の環境整備に関する調査研究報告書-保育所の人的環境としての看護師等の配置-21年度. 社会福祉法人 日本保育協会2010.
- ・大岩尚美, 吉田まつよ, 安藤千恵他. 児童養護施設における看護師の役割-入所に際し医療機関が介在したケース-. 日本小児看護学会誌2001;10 (1) :17-22.
- ・佐藤都也子, 友田尋子, 誉田孝子他. 大阪府下の児童養護施設における医療的ケアの実態に関する検討. 大阪市立大学看護短期大学部紀要2000;2:47-55.
- ・友田尋子, 安藤千恵, 大岩尚美. 児童養護施設の福祉職が実施する子供の健康に関わるケアの実態-福祉職の語りから得た現状と問い-. 日本看護福祉学会誌2007;13 (2) :13-26.
- ・若井和子, 小河孝則. 乳児院での保育看護における看護師の専門的役割. 小児保健研究2009;68 (6) :636-642
- ・八木修司, 岡本正子(編). 性的虐待を受けた子供・性的問題行動を示す子供への支援. 明石書店 2013:135-136.

表 1. 児童養護施設の看護師の役割と考えられる 26 項目

|    |                      |
|----|----------------------|
| 1  | 慢性疾患を持つ児童のための通院      |
| 2  | 被虐待児のための精神科通院        |
| 3  | 発達障がい児のための通院         |
| 4  | 定期的な服薬管理             |
| 5  | 服薬以外の定期的な医療的ケア       |
| 6  | 一時的な受診判断             |
| 7  | 一時的な受診付添             |
| 8  | 一時的に処方された薬の管理        |
| 9  | 応急手当                 |
| 10 | 病欠児／早退児の対応           |
| 11 | 感染症対応                |
| 12 | 感染予防の保健指導            |
| 13 | 予防接種管理               |
| 14 | 発育発達の把握              |
| 15 | 発育発達の記録              |
| 16 | 健康状況把握               |
| 17 | 健康状況に関する記録           |
| 18 | 生活習慣の健康教育            |
| 19 | 性教育，性的問題対応           |
| 20 | 職員が子供に対応するための保健指導，教育 |
| 21 | 問題を抱える児童の学校への送迎      |
| 22 | 外出から戻った児童の虐待兆候の発見    |
| 23 | 幼稚園，学校との連携           |
| 24 | 児童相談所との連携            |
| 25 | 医療機関との連携             |
| 26 | 家庭との連携               |

表 2. 児童養護施設の看護師に求められる役割

|                            |
|----------------------------|
| 慢性疾患を持つ児童に対する通院や医療的ケアなどの対応 |
| 突発的に起こる通院の判断やその対応          |
| 被虐待児など情緒に問題がある子供に対する看護     |
| 突発的な傷病への対応                 |
| 感染症発症時の対応                  |
| 医療的ケア技術に関する福祉職への助言，指導      |
| 薬の管理と使用判断                  |
| 病気や感染症の予防                  |
| 予防接種管理                     |
| 子供の成長発達の把握と管理              |
| 子供の健康の維持及び増進               |
| 健康状況や成長発達などの記録管理           |
| 性（生）教育に関わること               |
| 子供への健康教育に関する福祉職への助言，指導     |
| 医療や健康など専門的知識をふまえた職員への教育    |
| 職員のメンタルケアを含めた健康管理          |
| 医療機関との連携                   |

※ 本稿は，2014年7月に発刊された，季刊「児童養護」45巻1号（全国児童養護施設協議会 刊）に寄稿した原稿を内容を改変せずにレイアウトしなおして電子化したものである。